



2018年(平成30年)11月1日発行(第67号)

道農連

2018年10月の月間活動トピックス

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

秋闘：基本政策対策、各業態別対策方針などを協議／第5回執行委員会

道農連は10月10日、第5回執行委員会を開催し、胆振東部地震・台風21号対策、秋闘：基本政策対策及び業態別対策方針などについて協議した。

胆振東部地震・台風21号対策については、現行の支援策を踏まえながら、引き続き、復旧・復興に向け万全な予算の確保や単年度措置ではなく継続的な支援策を講ずることをなど求めていくこととした。併せて、募金活動に取り組むことを確認した。

秋闘基本農政対策では、①国際貿易交渉対策、②道産種子の安定生産及び普及に向けた道条例対策、③2019年度予算の確保対策の3つを重点に掲げ、具体的な取組として業態別の提言項目に盛り込むこととした。なお、業態別対策については、各対策委員会で提言項目を決定し、11月に中央対策行動を実施する。

米・水田農業対策、畑作・野菜対策委員会で秋闘対策の提言項目を決定

道農連は10月30日に第4回米・水田農業対策委員会、31日に第3回畑作・野菜対策委員会を開催し、秋闘対策に向けた提言項目を決定した。

米・水田農業対策では、水田農業における多面的機能の維持や食料安全保障の確立、稲作における経営安定所得政策の再構築などを求め、11月20日～21日に中央行動を実施する。なお、委員会終了後にはコメの生産費等調査について農業試験場と意見交換を行った。

畑作・野菜対策では、合理的な輪作体系を確立する畑作政策や国産野菜の安定供給と経営安定を図る野菜政策の拡充・強化を求め、11月21日～22日に中央行動を実施する。なお、委員会終了後には主要農作物等の種子の生産に関する道条例について、道農政部と意見交換を行った。

道農連が食材提供し、食の学習・試食会を開催／食・みどり・水を守る道民の会

道農連や北海道等で組織する食・みどり・水を守る道民の会(高倉司会長)は10月10日、「おいしい。あんぜん。北海道～生産者の想いを道民に～」と題した学習・試食会を札幌で開催し、約100人が参加した。学習会では、西原正行道農連委員長と中原浩一道農連書記長が「世界の食料事情と農業の役割」についてクイズ形式で説明した。試食会では、盟友が生産した食材による料理に参加者は道産農作物の品質の高さを再確認するとともに、安心・安全な農作物を地産地消で食することの大切さを味わった。

10月の活動記録(上記以外)

- 3日 道農連女性書記の会定期総会・研修会(～4日)
- 4日 第3回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会
胆振東部地震・台風21号の農業被害対策への支援対策説明会
- 5日 道農業青色申告会事務局会議
- 9日 主要農作物等の種子条例に関する道と北海道たねの会との意見交換
- 11日 道農業・農村振興審議会
- 22日 食・みどり・水を守る道民の会幹事会
- 24日 連合北海道第31年次大会

11月の活動予定

- 5日 第3回酪農・畜産対策委員会
- 6日 緊急三役会議
- 13日 第29回JA北海道大会
若年層への組織啓蒙等に関する勉強・交流会
- 14日 書記長・事務担当者研修会
- 20日 米・水田農業対策中央行動(～21日)
- 21日 畑作・野菜対策中央行動(～22日)
- 29日 酪農・畜産対策中央行動(～30日)
- 31日 食とみどり、水を守る全国集会(～12月1日)

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください
お申込み・お問い合わせは道農連事務局(TEL:011-241-5416)